

徳^{さん}コラム 「実りの秋」N I Eを深めよう

いろいろある秋を例える言葉のなかで「学問の秋」が本格化してきたようだ。学校が再開して約半年。授業も例年同様に進みつつある中、N I E（教育に新聞を）活動もいよいよ盛んになってきた。

新聞作りの授業では、チャイムが鳴ると同時に、子どもたちから「え～もう終わるの」「もっとやりたかった」と声が上がる。紙面を自分たちで思考・表現する楽しさが言葉に表れ、達成感あふれる笑顔が何よりもうれしい。



編集会議では、どのようなレイアウトが読みやすいか、どのように工夫すればより伝わる記事になるだろうか、読者を意識した議論が進む。時には意見が異なることもあるが、全員が納得して取り組めるようにと、子どもたちは真剣な表情で知恵を出し合う。

N I Eの特長の一つに、身近な諸課題を多面的・多角的に捉

え、社会と結びつく能動的な学びがあり、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に寄与する。

さて、今月からは各学校でN I Eの公開授業が始まる。新聞を活用した多様な活動や、社会とつながる議論を通して「実りの秋」を深めてほしい。

（徳島泰彦N I Eコーディネーター）